

# 山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	673000634
法人名	有限会社 和 のどか
事業所名	あつとホームのんき
訪問調査日	平成 19 年 7 月 17 日
評価確定日	平成 19 年 9 月 7 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかかぬ場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	673000634		
法人名	有限会社 和 のどか		
事業所名	あっとホームのんき		
所在地 (電話番号)	山形県東田川郡三川町大字猪子字大堰端336 (電 話) 0235-68-1750		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県山形市松波四丁目1番15号		
訪問調査日	平成19年7月17日	評価確定日	平成19年9月7日

## 【情報提供票より】(平成19年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 21 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 13 人, 非常勤 人, 常勤換算	12 人

### (2) 建物概要

建物形態	併設／○単独	○新築／改築
建物構造	木造	造り
	1階建ての	階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷 金	有( 円)	○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	○有( 100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有／○無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名	
要介護1	3 名	要介護2	5 名			
要介護3	7 名	要介護4	3 名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	84 歳	最低	63 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田医院 ・ 谷家歯科医院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は利用者が何を望んでいるのか考え、ユニットごとに利用者に合わせて目標を掲げ、一つの目標を達成した際には、また新たな目標を設定していく取り組みがなされており、本人の希望や家族の希望も反映させながら、しっかりと介護計画の作成が行われています。また、「いつでも利用者さん中心に(あわてず・急がず・のんびりと)」「利用者さんのペースに合わせた援助を(職員の都合で物事を決めない)」を掲げながら日々のケアにも取り組んでいるホームです。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題はありません。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は管理者と主任が主に行い、その他の職員へは一部の評価項目についてのみ確認が行われているため、評価の一連の過程を全職員で取り組みながら、評価のねらいや活用方法を全職員が正しく理解し、サービスの質の確保・向上につなげていく取り組みが期待される。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 3月に「評価結果、活動計画の報告、地区防災等」を議題として1回目の会議を開き、8月に2回目の会議を開く予定はあるが、その後の開催は未定であり、定期的な開催までには至っていないため、運営推進会議を定期的開催することにより、ホーム運営状況の報告や点検、取り組むべき課題の確認や検討を継続して行い、その成果を利用者へのサービス向上により早く反映させていく取り組みが期待される。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 現在、運営に関しての要望、意見はないが、面会時、ホーム催しの場を活用し問いかけが行われている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の行事(子ども会の祭り、利用者出身地区の敬老会)に出席し、交流することに努めている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症ケアについての理念はあるが、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容が不足している。	○	地域密着型サービスとしての役割を目指した内容を、これまでの理念に加えて行くことが期待される。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、現在の事業所理念と利用者に合わせて具体的な支援目標を共有し、実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(子ども会の祭り、利用者出身地区の敬老会)に出席し、交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者と主任が主に行い、その他の職員へは一部の評価項目についてのみ確認が行われている。	○	評価の一連の過程を全職員で取り組みながら、評価のねらいや活用方法を全職員が正しく理解し、サービスの質の確保・向上につなげていく取り組みが期待される。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3月に「評価結果、活動計画の報告、地区防災等」を議題として1回目の会議を開き、8月に2回目の会議を開く予定はあるが、その後の開催は未定であり、定期的な開催までには至っていない。	○	運営推進会議を定期的開催することにより、ホーム運営状況の報告や点検、取り組むべき課題の確認や検討を継続して行い、その成果を利用者へのサービス向上により早く反映させていく取り組みが期待される。

山形県 あつとホームのんき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の関係者の見学受け入れや町の担当者との意見交換、情報交換が行われている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態(随時)や金銭報告(月1回)は面会時、電話、ファクスで報告している。また、職員異動は今までなかったため、報告例がない。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現在、運営に関しての要望、意見はないが、面会時、ホーム催しの場を活用し問いかけが行われている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者との馴染みの関係を維持する上で今まで異動は行われておらず、馴染みの関係を構築している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回の会議の中でテーマ(褥瘡の原因と予防法、コミュニケーション、ユニットケアの取り組み)を決めた内部研修が行われており、今年の4月から3つの外部研修を受講している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同業者との情報交換を行っており、ホーム視察も受け入れている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	敷地、畑の草むしり、毎日の買い物、畑作業を一緒に行い、ゆったり、のんびりと援助している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	面会の頻度の検討、買い物や通院の付き添い、食事提供の形態の工夫など、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族から希望や意見を採り入れ、計画作成者のみならず担当職員の意見も採り入れた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化がない場合も6ヵ月ごとに介護計画の見直しが行われ、状況の変化がある場合は家族、担当職員も含めた話し合いが行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	個人でかかりつけ医をもっている利用者があり、また、 事業所の協力医療機関では、往診や休日・夜間の対 応も可能である。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき だけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	口頭での話しはその都度行われているが、「重度化し た場合における対応に係る指針」「看取りに関する指 針」はまだ作成されていない。	○	口頭での話しだけでなく、「重度化した場合における対応 に係る指針」「看取りに関する指針」を作成し、本人、家 族、かかりつけ医、ホーム職員等の関係者全員で、「指針 に基づいた具体的な対応方針」を共有していく取り組みが 期待される。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	毎月の会議開催時の自主研修の中でも「プライバシー の保護」をテーマに盛り込んでおり、また、守秘義務の 厳守を職員採用時研修はもとより、ボランティアや実習 生に対しても話をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物、畑作業、シソ巻き作りなど、本人の希望を聞き ながら、その人らしい生活ができるように支援している。		

山形県 あつとホームのんき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りから後片付けまでを、利用者と職員が共に楽しみながら行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴することができ、利用者の希望に合わせた入浴支援が行われている。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器拭き、米をとぐ、書道、大正琴、畑作業、草むしり、シソ巻き作り、漬物など、利用者の特技を発揮できる場面を設定し、利用者と相談しながら行うようにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	デイサービスの催しものへの参加、買い物、車椅子での散歩ができるように支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	安全に配慮し、利用者が外出を希望する時は職員と一緒に行動するようにしており、鍵はかけないようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得ながら、初期消火、心肺蘇生、避難訓練を年2回行っており、紙おむつ、乾物、缶詰を備蓄品として保管している。また、地区の方の防災協力の一つとして、避難後の安全確保を依頼している。		

山形県 あつとホームのんき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養量や水分量を把握しており、また、利用者の好みに合わせて食事の量や種類を変えて、食がすすむよう配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングからは利用者と職員が河原で取ってきた植物を四季を通して楽しむことができ、また、ホーム内には華美な装飾や幼稚な装飾はなく、利用者直筆の書、日常生活での写真が掲示されており、落ち着いて過ごすことができる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはダンスやベッド、家族の写真が置かれ、また、季節に応じて畳やカーペットなどの敷物も交換され、一人ひとりが居心地よく過ごせる居室となっている。		